

VIEW

「フォロー」という名の監視・いじめ！！ 「教育」に名をかりた差別をどう思いますか？

会社は、3月11日の作業で接地ブラシを交換していた社員が接地ブラシのトルクレンチと接地カバーのトルクレンチを間違えて使用してしまい接地ブラシの取付ボルトを折損させてしまった事について3月12日と13日の二日間勤務を外して事情聴取を行い、知悉度確認とモックアップを使用した接地ブラシ取り替えの作業確認を行いました。

その後、会社はその社員を3月14日から現場作業に戻しましたが、その社員の作業をチェックする「フォロー」社員を張り付けました。「作業間違い」はありましたが当日現場で担当者が「処置」を行い交番検査は時間内に終了しています。会社は「教育と作業確認」を行って、その上で現場作業に戻しているにもかかわらず、さらに「フォロー」という「監視」を続けようとしています。会社は、過去にも同じ社員に「フォロー」と称して3ヶ月近くもの「作業監視者」を張り付け、その社員に精神的苦痛を与えてきました。

先日行われた「B担務教育」でも明らかのように、たった半日「教育」ということで後ろについて見られただけでも苦痛だったことは誰もが認めるところだと思います。それが、3ヶ月も連続して続いたら精神的におかしくなります。会社は、その社員だけを集中して「攻撃」しています。別の社員が昨年発生させてしまった「ヒューマンエラー」の際には事情聴取だけでその後の「フォロー」もありませんでした。特定の社員だけが「フォロー」という「監視・いじめ」にあっているのです。

このような会社の「監視・いじめ」はパワーハラスメントです。そして、この種のパワーハラが拡大し職場全体に広がってしまえば、ますますものが言えない職場になってしまいます。

このままでは職場はよくなりません。ものが言える明るい職場をつくるためにみんなで声をあげていきましょう！